しものせき市民活動センター　市民活動取材／取材票

取材先	THINK PINK SHIMONOSEKI		
企画名	ピンクリーナの部屋		
取材日	２０２６年１０月１８日(日)天候[晴] ［ １４：００～１６：００ ］	取材地	川中公民館

レポート

THINK PINK SHIMONOSEKIは、「あなたと大切な人のために」をスローガンに、乳がんについて正しく知り、早期発見・早期治療の大切さを伝えることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動されています。
この団体は、乳がんについて気軽に相談できる場所として、今では美容師さんなどさまざまな専門家を巻き込み、相談者へつなぐ窓口としての役割も担っています。
これまで、SNSで乳がん検診の大切さを発信したり、地域のイベントやマルシェで啓発活動を行ったりされていますが、今回は第１回目の「ピンクリーナの部屋」を取材させていただきました。

「ピンクリーナの部屋」は、乳がん経験者やご家族、関係者、乳がんについて知りたい方など、誰でも参加できる会で、この日は、がん保険とリンパ浮腫についてのお話がありました。
がん保険では、がんと診断された場合に保険料の払い込みが不要になる「払込免除特約」や、がんになっても入れる保険があることなどを、専門家の方から具体的に教えていただきました。
リンパ浮腫については、リンパ浮腫セラピストの方から、乳がんなどの治療後にむくみが現れることがあることや、マッサージの方法、乳がんは治療が終わって元気になった後も日常生活で気を付けることがあることなどを、わかりやすく教えていただきました。

お二方とも専門家としての知識だけではなく、乳がんの方に寄り添ったお話が印象的で、参加者からも「日頃聞けないような話が聞けて良かった」などの声が多くあり、会全体もあたたかく和やかな雰囲気の場となりました。

また、小川代表からは、乳がんの方が安心して入浴できるよう工夫された「入浴着」について、大手衣料品メーカーと協力しながら広めていきたいという“夢”も語られ、私自身、こうした活動をもっと多くの人に知ってほしいと思いました。

状況写真



▲ピンクリーナは
団体のマスコット


▲応援Tシャツや「ここ編みパッド」などオリジナルグッズの展示・販売


▲小川代表


サイズやデザイン
がいろいろある
「ここ編みパッド」
（手編み乳房パッド）




▲がん保険の説明を聞く様子


▲リンパマッサージの体験